



古畑 浩一
議員

質問 新幹線時代に対応したまちづくりの推進について

新幹線開業を見据えて長年協議されてきた駅周辺整備事業だが、北口の空き店舗対策、南口の空き家対策などについて、いまだ具体的な方針が示されていない。新幹線時代に対応したまちづくりを今後どのように進めていくのか。駅南地区の都市再整備を図るべきと考えるがいかがか。

また、中央区地内のJR社宅が取り壊され、宅地とする計画が示されていると聞かす、市として有効利用する考えがあるか。

▼市長答弁

新幹線開業と併せて、中央大通り線、駅南線、自由通路などが整備され、交通の流れも変化していることから、新幹線開通後の状況も踏まえて、都市計画など市全体の市街地のあり方やまちづくりの方向性を検討していく。

JR西日本の社宅については、跡地を売却する場合には、市が買い取りたい意向を伝えてある。

質問 人口減対策事業について

平成28年度予算編成に当たり、重点施策として人口減対策を掲げているが、具体的な内容、目標とする実数とは何か。

また、夢を叶えて、若者や女性が輝くまちづくりを実現するための具体的な施策について、持続可能なまちづくりを推進するためには、危機感を持って環境の改善に取り組むべきであると思うが、いかがか。

▼市長答弁

人口減対策として新たに取り組む事業として、Uターン市内就職者の修学資金返済支援や、通学用新幹線定期券の購入費用助成などを計画している。目標としては、人口ビジョンの中で、転出抑制と転入促進による社会動態を改善する目標値として、平成28年度の社会減少の改善値として30人、平成32年度までの5年間で150人を掲げている。合計特殊出生率※については、平成32年度に1.78を目標としている。

若者や女性が輝くまちづくりについては、新たに取り組む事業として、子どもの出生を祝う商品券の支給、求人情報発信への支援などを計画している。また、就労環境の向上については、企業の取組を支援していく。

その他質問項目

- 公立高校再編計画と魅力ある学科について

じっくり聞きたい！一般質問



新保 峰孝
議員

質問 市独自の経済対策について

地域経済の現況をどのように捉え、市独自の経済対策について、どのような考え方で取り組んでいるか。

また、商店等のリフォーム助成を、仕事づくりと誘客効果を高める面も含めて検討したらどうか。

▼市長答弁

糸魚川経済団体連絡協議会の昨年前期の景況アンケート調査では、景況感、売上高、営業利益とも、全体としてやや悪化傾向を示しており、暖冬少雪に伴う除雪費の減少を市民に還元するなど、地域経済に好循環を生み出すことが必要であると考えている。

今回のリフォーム補助金では商店は対象としていないが、新年度では、地元産材を利用する飲食店への助成を検討している。

質問 並行在来線（えちごトキめき鉄道）等の利便性向上について

ダイヤ改正も含め、えちごトキめき鉄道の利便性の向上を図る取組についてはどのようになっているか。また、新駅設置についてはどうか。

JRの旧駐車場用地の所有はどうなっているか。新幹線と大糸線、日本海ひすいラインにおける利用者の駐車場無料サービスの考え方についてどうか。

▼市長答弁

ダイヤ改正において新幹線との接続の向上に努めている。新駅については、県、市、えちごトキめき鉄道と連携し、新年度は概略設計を進めていく。

JRの旧駐車場用地については、えちごトキめき鉄道の所有となっており、新幹線については南北駐車場において96時間まで無料サービスを行っているが、大糸線と日本海ひすいラインについては、JR及びえちごトキめき鉄道と協議していきたいと考えている。

その他質問項目

- 産業振興策について
- 新幹線騒音対策について

※合計特殊出生率…1人の女性が生涯に何人の子どもを産むかを表す数値。15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの。平成25年の数値では、全国：1.43、新潟県：1.44、糸魚川市：1.68。